

3年振りの盆踊り 11/24  
長泥行政区の研修会

「第3回長泥行政区研修会 in 飯坂」が飯坂温泉の「摺上亭 大鳥」で開かれ、区民ら約120人が参加しました。村長や山中知彦新潟県立大学教授の講話、カメラマンの関根学さんによる長泥の写真のスライドショーを行い、懇親会では、交流を続ける奄美大島の皆さんの踊りも披露されました。さらに太鼓が登場すると、今度は長泥の盆踊り。太鼓や歌い手が次々に入れ替わり、踊りの輪が広がりました。



▲太鼓と笛、そして歌にぎやかに響きました

▲「久しぶりに踊ったよ」。会場は一層和やかに

- 11月の主なできごとと村の動き**
- 1日・第5回飯館村行政区長会議（飯野出張所）
  - 子育て支援庁内検討会（飯野出張所）
  - 2〜3日・いいたて村民ふれあい号（群馬県高崎市・伊香保温泉他）
  - 3日・村直売所松川店「なごみ」収穫感謝祭（松川第一応急仮設住宅集会所前）
  - 6日・平成25年度第2回飯館村の教育を語る会（飯野学習センター）
  - 第58回福島県下農業委員大会（パルセいざか）
  - 第1回農業委員会ワークショップ（いやしの宿）
  - あぶくまロマンチック街道構想推進協議会「郷土料理作り」（県青少年会館）
  - 大倉行政区除染説明会（相馬大野台応急仮設住宅集会所）
  - 7〜8日・行政区長会研修会（群馬県榛東村）
  - 11日・県主催「消費者の部屋」特別展示参加（東京都千代田区・農林水産省）
  - 関東方部避難者のつどい（東京都千代田区・学士会館）
  - 11〜18日・定期監査（飯野出張所他）
  - 12日・村消防団・南相馬消防署飯館分署合同消防訓練（菊池製作所）
  - いいたて全村見守り隊隊長会議（村役場本庁）
  - 13日・相馬地方農業復興大会（JAそうま中村総合センター）
  - 14日・減容化施設環境整備に関する県への要望活動（県庁）
  - 16日・ランドセル贈呈式（飯野出張所）
  - 東日本大震災復興・相馬地方広域物産展「青山マルシェ」（東京都渋谷区）
  - 17日・第25回市町村対抗県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）に出場（白河市・福島市）
  - 農地除染後の農業を支える放射能対策セミナー（飯野学習センター）
  - 八木沢・芦原行政区除染説明会（飯野学習センター）
  - 20日・第10回農業委員会定例総会（飯野出張所）
  - 21日・村議会東京電力福島第一原子力発電所事故災害復興対策特別委員会（飯野出張所）
  - 22日・いいたてまでいな復興計画推進委員会（飯野出張所）
  - 「読書メッセ」コンテスト 審査会（飯野出張所）
  - 27日・行政区地域づくりワークショップ中間報告会（県青少年会館）
  - 30日・「しあわせカフェわたり」立ち上げ（福島市渡利学習センター）
  - 上飯館行政区除染説明会（飯野出張所）
  - 前田行政区除染説明会（前田公民館）

11/12 避難中の村内を守る消防訓練

村消防団と南相馬消防署飯館分署が、合同で消防訓練を行いました。訓練は、村内で操業を続ける菊池製作所福島工場で火災が発生したという想定で行われ、発見者役の従業員が工場長へ出火を報告。続いて通報・避難誘導なども、実際の手順通りに行われました。ポンプ車・指揮車で敷地内に入った消防隊も、実際に消火栓を使って放水を行うなど緊張感のある訓練を行い、参加した従業員らの防火意識を高めていました。



▲きびきびとした動作で建物へ放水

「青山マルシェ」に出展しました 11/16



▲試飲をおすすめして商品の魅力を伝えます

東京都渋谷区の国連大学前で毎週末開かれる都市型ファーマーズマーケット（農民市）「青山マルシェ」で、この日、震災復興を支援する物産展が行われました。県内市町村が軒を連ねる中に、相馬地方広域市町村圏組合も出展。佐々木千栄子さんが作るどぶろくも販売されました。店先ではどぶろくの試飲も行われ、訪れた人と村のようすや物産について会話が交わされていました。

11/21 「いやしの宿いいたて」利用者5万人を達成

村民の憩いの場となっている飯坂温泉の「いやしの宿いいたて」。開設から2年2か月余りの期間で利用者が5万人に達し、この日5万人目の来館者となった高田愛子さん（関沢）に、記念品として湯桶やタオルなどの入浴セットが贈られました。高田さんは「去年から利用していました。今年の5月からは足の痛みを和らげたくて、バスを利用し休まず来ています。今後も利用しますので施設を続けてください」と話していました。



▲副村長から記念品を受け取る高田さん（写真右）